

本計画では、町民のみなさんが今まで以上に暮らしやすく充実した生活を送れるよう、各地域が次のような「理想の姿」になることを目指します。

また、理想の姿の実現を目指し、3つの「基本方針」を柱に、6つの「基本施策」により取り組んでいきます。



理想の姿

『心がふれあい、人と人の絆を育み、故郷への愛着を深める地域』

①みんなの笑顔があふれる地域

②お互いに助け合える地域

③自分たちの夢や誇りを育む地域

- ①…地域のみんなの顔が分かり、誰とでも気軽にあいさつや話し合いができ、町内、町外を問わず、親しみやすい地域になることが理想です。
- ②…お互いに支え合い、助け合い、困っている人がいれば自然に手を差し出すことができるような地域になることが理想です。
- ③…自分たちの夢を自分たちで描き、問題があれば自分たちで解決し、自分たちの地域に誇りを持つような地域になることが理想です。

基本方針と基本施策

●方針1『地域と向き合おう』を推進します！～居住地から故郷へ～

- ・施策①地域資源の発見や見つけ直しができる地域環境づくりを支援します。
- ・施策②誰もが顔見知りや仲良くなれるような地域環境づくりを支援します。

●方針2『地域に踏み出そう』を推進します！～住民から中山人へ～

- ・施策①気軽に地域活動に参加できるきっかけづくりを支援します。
- ・施策②誰でも参加することができる仕組みづくりを支援します。

●方針3『地域を創っていこう』を推進します！～負担からやりがいへ～

- ・施策①地域活動を行う人の人材育成を支援します。
- ・施策②地域活動を行う団体が楽しくやりがいを持って活動できるよう支援します。

地域活動促進プロジェクト(案)

本計画では、より効果的にコミュニティの活性化を図るため、上記6つの基本施策を横断的に連携させた「地域活動促進プロジェクト」を実施する予定です。

現行の「まちづくり推進事業補助金」の対象を拡大し、提案型補助金制度を住民の方と一緒に構築することなどを考えています。

『住んで良かった!』と言いたくなる町の参考書

『中山町地域コミュニティ活性化計画』を策定しました

人口減少や少子高齢化、また、インターネットの普及に伴う生活スタイルの多様化等により、人と人とのつながりが薄れ、全国的にコミュニティの希薄化が進んでいます。

コミュニティの希薄化は、「高齢者の孤独死」や「若者の流出」、また、「町そのものの活気の低下」など非常に深刻な問題につながっていきます。

こうした中、より多くの町民のみなさんが地域でのふれあい、絆を持ち、これまで以上に住みやすい町となるよう、平成25～32年度を計画期間とする「中山町地域コミュニティ活性化計画」を策定しました。



現状と課題

計画の策定にあたっては、策定委員会、職員ワーキンググループ、キーパーソンヒアリングにより現状と課題の洗い出しを行い、次のとおり整理しました。

<現在の問題>

- ・自治会、各種団体の衰退、担い手不足
- ・伝統の継承ができなくなる
- ・非常時の助け合い、高齢者の孤独死
- ・若者の流出、地域間の格差 など…

課題①
これら問題の解決

<現在の魅力>

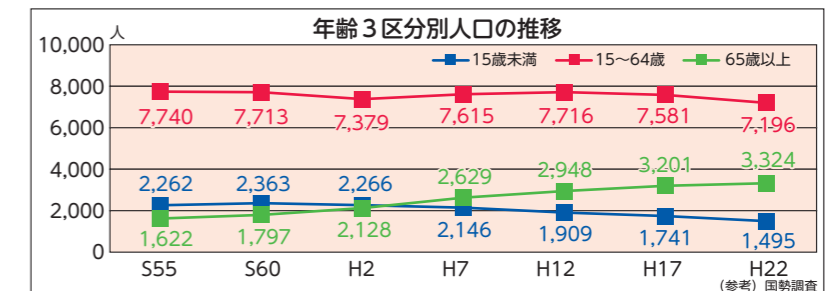
- ・交通の利便性が良い
- ・自然にも恵まれたやすらぎのある環境で穏やかに暮らしやすい
- ・地域の連帯感があり、町への愛着があると感じている人が多い(町民アンケート結果より) など…

課題②
これら魅力の向上

データから見た中山町のコミュニティに関する問題

(少子高齢化の進展)

右のグラフのとおり、中山町においても少子高齢化の波が押し寄せています。



(高齢者の1人暮らし、2人暮らしの増加)

このまま増加していくと「高齢者の孤独死」が発生していく危険性もあります。

